します。

続

いておりますが、

皆様にはご

健勝にて新春を迎えら

ħ て

理

塩川

理

田

勝

あれから三年、

終焉を期

待し

たコロ

ナ禍は依然とし

解とご協力を賜

ŋ

12

から厚く

御礼申し上

一げます。

理

東條

正

の皆様には、

日

頃

からシル

バー事業に対

別なご

理位

会員並

び

に役職員の皆様、

沖縄市当局

、そして関係各

H

たこととお慶び申

上

げます。

シルバー人材センター



沖 縄

ル

バ

人材センタ

理

事

原

発行所〉 公益社団法人 沖縄市シルバー人材センタ 〒904-2155 沖縄市美原 3丁目 1番1号 電話号(098) 929-1361

http://www.okinawasisi.com 12月末現在の会員数553人 (男性363人・女性190人)



就業の機会と確保に努める」 新春を迎えて

ましておめでとうございま

き実施 ひ 近年、 これ ٧١ ますの て は環境問題などの課 してまい まで同様、 ご活躍を念願する次第であ 時代 の変化を身近に感じさせる少子高齢化 りますが、 コロ ナウ 題に対 地 1 域経済等 ル ス感染 Ų ŋ 、ます。 シル 予 0 担い ·防対策 バー人材 手とし 策は 引 ŧ セ て 続

ご健勝とご発展を心からご祈念申し上げ、ご挨拶とい 幸多き新年でありますよう皆様 令和五年 のます ます 元 旦 た 0

安全で安心

就

業できるよう、

その機会と確保に努

め

務 局

員

同

て

ŧ

ました。

本年も、

より生きが

VI

対策の

充実を

0

社

会参

加

の期待と、

そ

の役割

は

層重要に

な

理

喜納

理

比嘉

理

仲宗根

弘

理

小橋川

啓

理

渡

口

正美

て

自 ŋ

主

自立 て

共働

共

助

の理

念を堅持しなが

5

監

仲宗根

正史

安次富 正文

てまいります。

どうか、

副理 雄 理 浜比嘉 上原

秀

お願い申し上げます

2023

「安全祈願祭」

時 令和5年1月4日(水) · 日 午前9時~

・場 所 シルバーセンター事務所前

シルバー人材センターの理念

自分のものとして考え 主

一緒になって働き

立 自分たちの力で育てる 共 助 お互いに助け合う

の支援要請書をまとめ、 『令和4年度定時総会』

郎沖縄市議会議長をそれぞれ表敬訪問。席上、

で採択された各自治体への

「支援要請」 全国シルバー

を踏まえた当センター独自 人材センター事業協会の

桑江市長と瑞慶山市議会議長 (要請文は次面に全文掲載

浜比嘉宗明副理事長ら役職員は12月2日、

原秀雄理事長、

同要請書を手渡した。



仲宗根正史事務局長、浜比嘉副理 (写真右から) 事長、上原理事長、桑江沖縄市長



桑江沖縄市長(写真左)に「要請 を手渡す上原理事長

(写真右から) 瑞慶山沖縄市議会 議長、上原理事長

いずれも対前年同月比

(写真右から)藤山勇一市議会副議長、 瑞慶山市 上原理事長、 浜比嘉副理事長 議会議長、

22年間続いた同事業を振り返ったうえで「累積 運営はいばらの道をたどった。上原理事長は、 赤字が増大するばかりで、解消する目途が困難 結果12月20日現在の会員数は553人(女性1 (男性6人・女性2人)が承認され、 議案第1号「正会員の入会」については、 しかし、当初から様々な難題にぶつかり、 了承を求めた。 やむを得ず今年度で終わりに 会員数545人で これに対し大き 月

10 事 会 回

桑江朝千夫沖縄市長と瑞慶山

第10回理事会が12月20日、シルバーワ

ラザ会議室で開催され、

平成13年度からスター

した「訪問介護事業」の終了について審議。

れた。 90人・男性363人) となった。 同事業を本年度をもって終了することが承認さ 5人の減(▲15%)、配分金約1846万円で な異論はなく承認をみた。 な状況にある。 95万円で約284万円の減(▲12%)となっ 約181万円の減 人の増(2%)、就業延人員3242人で49 の退会者は3人。 同事業は、 県内では当センターだけの独自事業として への微増(0%)、就業実人員332人で7 令和4年11月実績では、 重要な役割を担うという期待があ 9% 契約金額約22

が定めた適正就業ガイドラインを順守しつつ、

運営が可能となる措置を要望いたします。

しないという状況ですが、

地方自治体の施策、

進展している中で、誰もがいくつになっても活 躍できる社会の実現が求められています。 我が国においては、 人口減少、少子高齢化が の介護の周辺業務の切り出し等による要支援高齢 1 者に対する支援事業 介護予防 · 日常生活支援総合事業、

の充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の 高齢者の社会参加を促進し、 密着した就業機会を提供することなどにより、 シルバー人材センターは、 地域の日常生活に 高齢者の生きがい 3 2 向けたシルバー派遣等の事業 役世代や子供たちへの支援事業

活性化、 献しています。 企業においては、 医療費や介護費用の削減などに貢

4

た農園事業など地域の課題解決に資する事業

空き家管理・墓地清掃、遊休地を活用

化が求められています。 域ごとの実情を踏まえた積極的な取組の強 での就業機会の開拓・マッチング機能や地 の確保が努力義務とされる一方で、 人材センターについても、 七十歳までの就業機会 人手不足分野等 シルバー る センター事業の推進のために必要なセンタ たしてまいる決意です。 意欲のある高齢者の受け皿としての役割を果 等を重点に取り組み、地域社会の発展と就業 に対する補助金等の確保を要望いたします。 つきましては、令和五年度のシルバー

「育二大会員百万人産文十回」と沓よる、地ら令和六年度までの七年間を期間とする域応えるべく、私たちは今、平成三十年度か社のよっ、サフ目消化の方針、サガイの方針、サガイの方針、サガイの方針、サガイスの其名に う理念のもと、高齢者の安全就業を確保し、国 も活躍できる就業機会の創出に努めています。 会員拡大、とりわけ女性会員の拡大や企業退職 に推進しているところであり、八十歳を超えて (予定) 者層への働きかけの強化の取組を強力 第二次会員百万人達成計画」を踏まえ、 新型コロナウイルス感染症が完全に収束 「自主・自立・共働・共助」とい 地域社会の期待に 国の施策の実現 たな税負担が発生します。公益法人であるシルバー 係にあるシルバー人材センターには、相当額の新 が施行されると、 おける「適格請求書等保存方式(インボイス制度) 負担はまさに死活問題となるため、安定的な事業 ?材センターは収支相償が原則であり、 新たな税 注の確保について、強く要望いたします。 ターに対する市区町村等の公共からの事業発 においても、厳しい財政事情の中ですが、 の補助金と同額以上の補助金の確保や、 た補助金の確保、また、都道府県・市区町 特に、国においては一般会計をはじめとし また、令和五年十月に導入予定の消費税に 免税事業者である会員と取引関

介護施設

Š 約65%は信号の

という。 その っかり 認することを強調した。

放課後児童クラブの担い手など子育て中の現

人手不足や働き方改革に取り組む地元企業に

第2回総務委員会開催



(右から)塩川初江委員、喜納愛子委員、与座由佳 担当事務 局員、東條正躬委員長、仲宗根弘委員、 仲宗根正史事務局長

第2回総務委員会が11月29日、シルバーワークプラザ執務室で開催され、「訪問介護事業」について審議。最初に、仲宗根正史事務局長が事業参入の経緯から今日に至るまでの事業運営などについて説明し「法制度改正や民間事業者との競合などで赤字運営が続き、また新たにインボイス制度の導入が予定されているため、事業継続は極めて困難な状況にある」と報告。その後、委員らはより詳しい内容説明を求めたうえで「事業継続は困難」との意見一致をみた。

令和4年度第4回安全・適正就業委員会が12 月13日、シルバーワークプラザ執務室で開催された。冒頭、小橋川啓委員長が「就業中の会員へのクレームが寄せられている。これにどう対応すべきか、適切なクレーム処理のあり方について審議し、再発防止を図っていきたい」と要望。城間担当事務局員から直近2件のクレーム内容報告の後、会員が「安全・適正就業基準」を遵守することや業務内容を的確に把握する必要性などが話し合われた。今後は、就業会員の安全・適正就業講習や接遇マナー講習を定期的に実施し、安全で適正な就業につなげていくことを確認した。

第4回安全・適正就業委員会



(右から) 仲里栄信副委員長、、仲宗根正史事務局 長、城間勇太担当事務局員、小橋川啓委員長、渡口 正美委員、高吉満弘委員

安全就業で年の締めくくりを 連合と合同安全パトロール実施







の伐那覇宗孝指尊員は「熱中正も落ち日、馬場・若夏・明道の3公園で実施連合との合同安全・適正就業パトロ